

高潮 ④ 芦刈・久保田海岸はん濫

浸水想定凡例

- 0.0~0.1m未満の区域
- 0.1~0.3m未満の区域
- 0.3~0.5m未満の区域
- 0.5~1.0m未満の区域
- 1.0~2.0m未満の区域
- 2.0~5.0m未満の区域
- 5.0m以上の区域
- 想定越水箇所
- 緊急輸送道路(通行可)
- 緊急輸送道路(冠水が予想される区間)
- 当該ブロック界

【当該ブロックの特性】

【避難所】すべての避難所が浸水で使用できない校区が存在するなど、避難所の多くが浸水で使用不可となる恐れがある。また、想定越水付近の避難所では、大きな流体力を受け、倒壊等の被害の恐れがある。
 【電気】床上浸水が多く、停電発生が多く発生する恐れがある。
 【上水道】高層建物では、地下機械室の浸水や受水層ポンプ故障により断水する恐れがある。
 【廃棄物】床上浸水が多く、大量の廃棄物が発生する恐れがある。
 【要援護者施設】ケアハウス、老人ホーム、特別養護老人施設において浸水する恐れがある。
 【LPガス】LPガス容器の流出・LPガス供給設備・消費設備の水没により使用不能となる恐れがある。
 【道路】緊急輸送道路が六角川流域を縦横に走り、部分的ではあるが広範囲で冠水が予想される。また、はん濫水が引いた後も、浸水によって放置された車両などの影響で渋滞が発生し、道路を利用した活動に支障をきたす恐れがある。
 【死者】約0人(避難率0%の場合)
 【孤立者数】約9,200人(避難率0%、1日後の場合)
 【通信】浸水深が2m以上となれば、交換所の浸水の恐れがあり、通信サービスの提供に影響が生じる恐れがある。
 【家屋流失】越水地点から約600mの範囲で居住不可能な家屋被害が出現する。

被害項目	約	
浸水区域内人口(人)	約	11,000
浸水面積(ha)	約	2,400
床上浸水(世帯数)	約	1,600
床下浸水(世帯数)	約	1,300
死者数(人)	約	9 (避難率 0%)
	約	8 (避難率 10%)
	約	5 (避難率 40%)
	約	2 (避難率 80%)
孤立者数(人)	約	2,300 (避難率 0%)
	約	2,100 (避難率 10%)
	約	1,400 (避難率 40%)
	約	500 (避難率 80%)

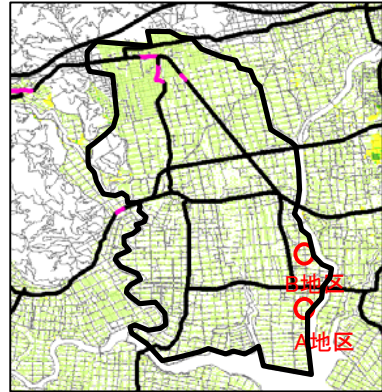


- ### 凡例
- 駅
 - 国道
 - 高速道路
 - 鉄道
 - 市町界
 - 河川
 - 代表地区

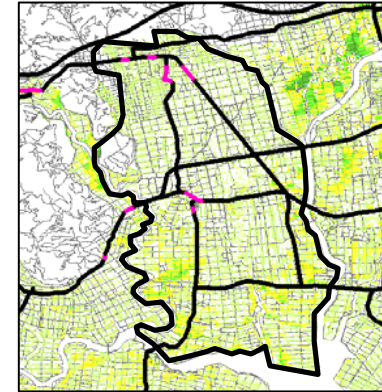
項目
浸水被害と冠水が予想される区間

A地区	● 10cm未満	● 10cm未満	● 10~30cm未満
B地区	● 10cm未満	● 10~20cm未満	● 10~30cm未満

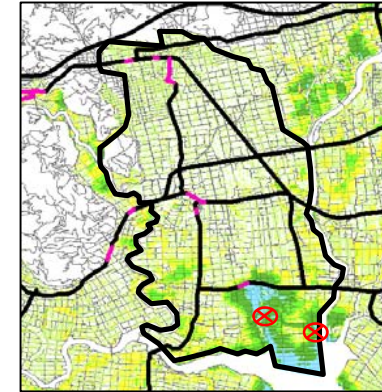
- 1. 供給
・電気
・ガス
・上水道
- 2. 衛生処理
・水害廃棄物
・防疫
- 3. 輸送
・鉄道
・道路
- 4. 安全・防犯
・警察署
・消防署
- 5. 情報通信
- 6. 避難所
- 7. 防災・水防
- 8. 福祉・医療・教育
- 9. 居住



降雨開始24時間後



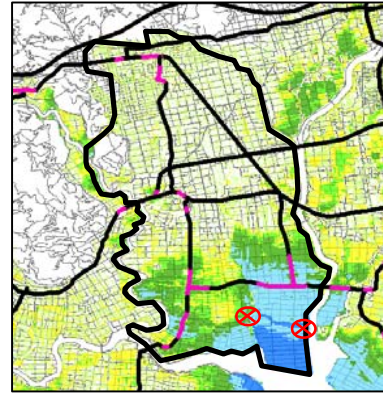
降雨開始34時間後



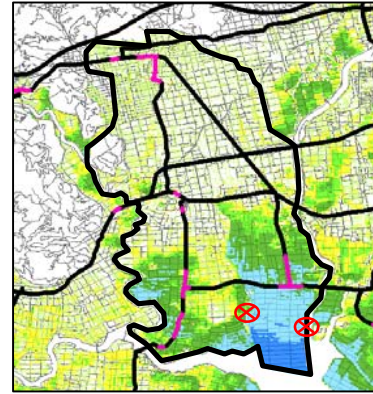
越水1時間後

A地区	● 10cm未満	● 10cm未満	● 10~30cm未満
B地区	● 10cm未満	● 10~20cm未満	● 10~30cm未満

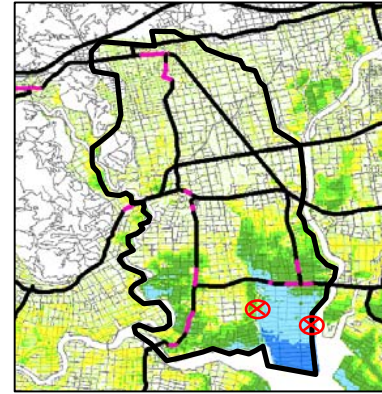
- 停電による関連施設への影響の波及
* 受電側(居住地など)が浸水により停電発生している可能性が高い
- 鉄道の運行停止(降雨等の気象状況を基に予め浸水開始前に運行停止)
- 鉄道の浸水(軌道、線路ポイント冠水)
- 道路冠水による輸送力の低下
- 浸水による通行止め道路の把握困難
- 道路冠水による活動支障
- 放置車両、渋滞による活動支障
- 浸水範囲、被害の把握が困難
- 避難所浸水による避難場所の選定、指示が困難
- 広域的避難要望の増大
- 要援護者、孤立者の把握困難
- 放置車両や道路冠水による患者搬送困難
- 災害時要援護者等の避難困難
- 停電後非常用電源に切り替わる
- 周辺の浸水により患者の搬送・受け入れが困難
- 災害時要援護者等の所在の確認困難
- 浸水による建物外への避難困難、孤立化
- 入手情報が断片的で状況把握が困難
- 内水発生による家屋への孤立



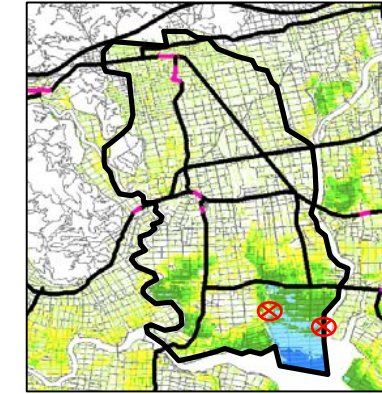
越水3時間後



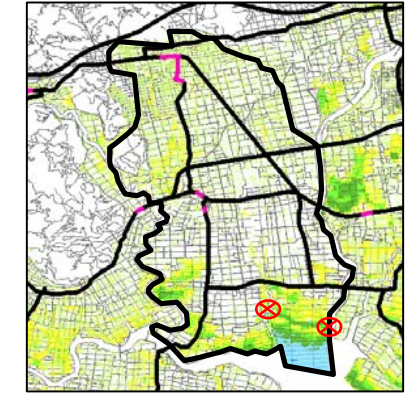
越水6時間後



越水12時間後



越水24時間後



越水48時間後

●1.0～2.0m未満

●床上浸水や停電が想定される。／避難所が浸水で使用できなくなる可能性がある。
●越水後水中歩行による避難が困難となる可能性がある。

●1.0～2.0m未満

●床上浸水や停電が想定される。／避難所が浸水で使用できなくなる可能性がある。
●越水後水中歩行による避難が困難となる可能性がある。

●50cm～1.0m未満

●30～50cm未満

●10cm未満

●10cm未満

●10cm未満

●10cm未満

●10～30cm未満

●50cm～1.0m未満

●床上浸水や停電が想定される。／避難所が浸水で使用できなくなる可能性がある。
●越水後水中歩行による避難が困難となる可能性がある。

●30～50cm未満

●10cm未満

●10cm未満

●電力: 変電所が浸水対策以上に浸水した場合には電力設備に被害が生じ、供給地域で停電する恐れがある。
●LPガス: LPガス容器の流出、LP供給設備の水没による使用不能になる恐れがある。
●上水道: 浸水により一部の上水道施設の機能が停止し、断水や水の出が悪くなる恐れがある。

■道路冠水、インフラ障害による応急復旧活動への影響

●浸水による生活環境の悪化等により感染症の発生が想定される。

●高潮による流入物や建築物の浸水等による廃棄物、粗大ごみなどが大量に発生する恐れがある。

●緊急輸送道路である国道444号で一部冠水が予想される。

■放置車両による通行障害

■警察署、消防署及びその周辺の浸水による作業困難化

■治安悪化の恐れがある

■停電後非常用電源に切り替わるが、燃料補給できない場合は通信障害発生
*バックアップ機能を有するテレビ・ラジオは放送継続

●浸水深が2m以上となれば、交換所の浸水の恐れがあり、通信サービスの提供に影響が生じる恐れがある。

●避難所自体が浸水して使用できなくなる恐れがある

■避難所周辺の道路が浸水して孤立化するところが多く出る。

■道路冠水による水防活動が困難

■インターネット不通による防災情報提供の困難

●排水ポンプ場や水門等の構造物の冠水の可能性がある

■交通、ライフライン被害の把握困難

■行政機関冠水による防災情報提供の不足、遅れ

■非常用燃料の供給困難による排水機場の機能障害

■資機材不足による孤立者、要援護者等の救出困難

■燃料補給できない場合は医療活動に支障(病院・福祉施設)

■機器冠水による医療活動の支障

■医療救護班の不足の恐れ

●決壊後3時間には、周辺の浸水によって車輛による患者の搬送・受け入れが困難な状況となる恐れがある。

●浸水深1m以上になり、固定電話を使用した救助要請や防災情報の入手が困難になる。
また、停電によりTVからの情報入手が困難となる恐れがある。

■家屋浸水に伴う停電でTVやインターネットからの防災情報等の入手困難

■家屋浸水に伴う停電で固定電話の使用不可／救助要請の伝達が困難